

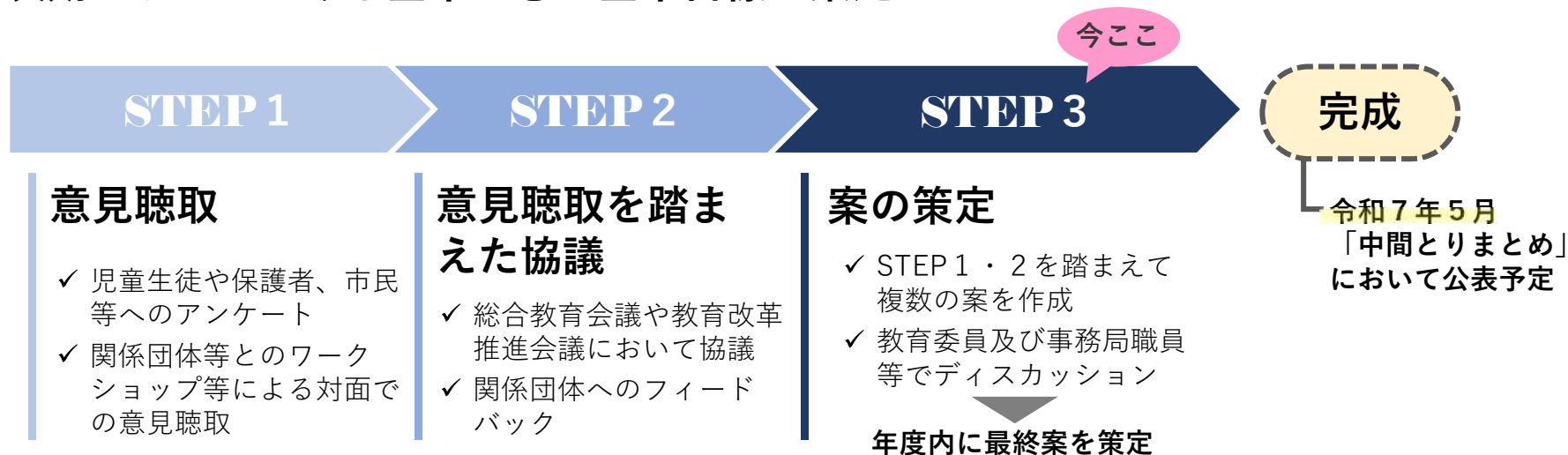
次期かわさき教育プランにおける
基本理念・基本目標について

令和 7 年 2 月 6 日（木）
教 育 委 員 会 事 務 局
教 育 政 策 室

《本日の目的》

5月の中間とりまとめ公表に向けて、次期かわさき教育プランにおける
基本理念・基本目標について意見聴取

次期プランにおける基本理念・基本目標の策定フロー



参考 現行プランの基本理念・基本目標

基本理念

「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」

基本目標

「自主・自立／共生・協働」

※現行プラン上は、基本理念・基本目標を一体で「めざすもの」「教育の指針」、基本理念を「今後教育が果たすべき役割や未来への普遍的な願い」、基本目標を「今後の教育施策の指針となる考え方」と説明

- I アンケート・対面での意見聴取
- II 意見聴取を踏まえた協議
- III 次期プランの基本理念・基本目標の考え方
- IV 次期プランの基本理念・基本目標の案
- V 本日の議題

- I アンケート・対面での意見聴取
- II 意見聴取を踏まえた協議
- III 次期プランの基本理念・基本目標の考え方
- IV 次期プランの基本理念・基本目標の案
- V 本日の議題

1 意見聴取の概要

■ アンケートによる意見聴取

- ・ 児童生徒、保護者及び教職員へのアンケート
- ・ 社会教育団体へのアンケート
- ・ 市民アンケート（3,000人無作為抽出）

▶ <回答者>
合計 69,283人

■ 対面での意見聴取（ワークショップ）

- ・ 市立学校、保護者（PTA）、社会教育委員会議、地域教育会議等での意見聴取

▶ <参加者>
合計 1,744人

2 意見聴取で確認できたこと

- ・ アンケートによる意見聴取の結果から、現行教育プランの基本理念（「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」）及び基本目標（「自主・自立」「共生・協働」）につながる価値観が広く共有されており、今後の本市の教育においても必要と考えられていることが確認できた。
- ・ 一方で、対面での意見聴取では、これまでの基本理念・基本目標につながる価値観の他に、コミュニケーション力や行動力、レジリエンスなど、新たな価値観や考え方についても、今後、必要と考えられていることが確認できた。
- ・ 今後の本市の教育においては、市民一人ひとりが“学びの主役”であり、“学びの主体”となることが重要であり、今後の本市の目指すものを全ての市民が共有しながら取組を進めることが重要であることが明らかになった。

- I アンケート・対面での意見聴取
- II 意見聴取を踏まえた協議**
- III 次期プランの基本理念・基本目標の考え方
- IV 次期プランの基本理念・基本目標の案
- V 本日の議題

教育改革推進会議での主な意見（令和6年11月14日開催）

教育プランに関することを所掌する会議体として、学識や市民代表、関係団体の代表等から意見聴取

大切にすべき価値観や考え方についての意見

- 「川崎らしさ」ということは、盛り込みたい。
- 教育というのは学校の先生だけではなくて市民、保護者、そして子どもたちが当事者として関わっていくものであるもので、学校と地域が連携してつくり上げ、子どもと大人の豊かな学び合いの社会となればよい。
- 「一人ひとりが行動する」というようなことが、メッセージに入るのかなと思っている。
- 教え授けるみたいな時代から、その子それぞれの潜在能力を自ら引き出し、先生も協力していくという意味で、「自ら育つ」ということが1つ重要なポイントだと思う。
- 子どもたちは、やはり「優しさ」や「コミュニケーション」を求めている。
- いわゆる「ウェルビーイング」の考え方がすごく大事になる。「利他性」や一緒にやっていく「協働性」、それから「社会貢献意識」の向上、さらに言うなら「自己肯定感」のようなものの獲得というものが目指せるとよい。例えば「調和と協調」という言葉を入れるのも手かなと思った。
- 「自主・自立」の「自立」について、自分で自分の身を立てなければいけないということが強調される懸念がある。困っているときには人の助けを借りてもよいので、「自律」の方がよいのではないか。
- 「夢や希望」は、必須なのか。少し未来志向に偏っているように感じた。今を楽しむことを織り込めないか。
- 「レジリエンス」というような力が求められていると感じている。

基本理念・基本目標のまとめ方についての意見

- 市民一人ひとりが学びの主役であり、学びの主体となることが重要であるということは、これからの教育の中で、この視点がすごく大事なのではないかというふうに思った。
- 今の理念が非常に素晴らしいので、このままでもよいのではないか。
- すでに川崎市が掲げている理念が素晴らしいということは賛同する。言葉を変えるにしても、趣旨はそんなに大きく変えず、引き続き大事にしていくべき考えだと思う。
- 何かコンセプトマップのようなもので表すなど、ビジュアライズして示していくということをしてよいのではないかと思う。
- 教職員が元気になったり、やる気になったりするようなメッセージを発信してほしい。
- 子どもたちでも分かるような優しい言葉でキャッチフレイズ的なものができるとよい。

総合教育会議での主な意見（令和6年11月25日開催）

坂口委員

次期プランは、今後10年のことを見据える必要があるということを考えると、理念的に今後どうするかということは、今後の様々な検討の委員会で議論すればよいのではないかと思います。

西井委員

やや能力開発やコンピテンシーに関わるようなところが多かったと思う。このアンケートを基に、議論していけるのではないかと思った。

芳川委員

新たな理念として、多様性の社会で自己実現できる創造力、そのある教育を実践できたらよいと思う。

森川委員

市民にきちんとメッセージが届いてほしいと、強く心から思う。
児童生徒の保護者の方々が、どこか心の拠り所になるようなものになればよい。

野村委員

これまでのものを大事にしながら、新しい価値観や考え方を加えていくということは非常に大事でありながら、一番危惧しているのは、あれもこれもになって濃度が薄まってしまうことだ。
一つひとつの今までの言葉を生かしながらも、時代に合わせたちょっとした精査みたいなものは必要だと思う。

小田嶋教育長

人間同士のつながりが基本であるという部分は、変わらないのかなと思う。その際に、「他者」という言葉が大きなキーワードになると考えている。
今まで以上に、イメージーションの想像力が必要になってくるし、それがクリエイトの創造力にもつながっていく。その意味で、「他者への想像力」ということ 키워ドとして考えてみたい。

福田市長

これから、もっと不確実な時代に入っていく中で、今現時点ではなく10年先を見据えてということになるので、その辺りもしっかりと踏まえたプランにしていかなければならない。
長々した文章ではなく、端的なフレーズで「川崎はこれなんだ」と言えるようなもので、皆さんから共感を得られるようなものができれば、みんなのゴールというか、灯台になるのではないかな。

川崎市PTA連絡協議会理事会でのフィードバック（令和6年12月5日開催）

- 簡単なワードで、子どもたちにもわかるような表現であるとよい。
- 加賀市のように、かっこよくまとめられるとよい。
- 保護者の意識を上げることは、課題だと思う。そういう意味で、メッセージ性のある言葉は大事だと思う。
- 単に子どもを育てるだけではなく、地域を支える人材にしていくことが大事ではないか。
- 加賀市のような強烈なメッセージでもよいと思った。
- 「川崎市子どもの権利に関する条例」に素晴らしい言葉がたくさんある。そのような内容を基本理念・基本目標に入れ込んでもいいと思う。

社会教育委員会議でのフィードバック（令和6年12月20日開催）

- 川崎市からノーベル賞を取るような人材を育てていくことが必要。子ども自身がそのくらい大きな夢を持って取り組めるような教育が必要ではないか。
- 社会教育委員会議では人権についての意見が多く出たが、教育は商品ではなくて人権で、学習権をどう保障するのかというところが行政や地域社会の仕事であるということを念頭に置いた上で、キャッチーなものを作ってほしいと思う。
- 渋谷区の例では、人権という言葉は使われていないが、「一人ひとり」を大事にするということがよく分かる。そういうふうなものができるといいと思う。
- 川崎の子どもたちはコミュニケーション力が高く、自立して自発的に活動していると感じている。良い教育をされていると思う。
- 今までの基本を大事にしながら新しい価値観を取り入れていくということだったが、「新しい価値観」と「流行り言葉」はイコールではない。今、流行っている言葉が、今後、社会で定着していくかはわからないので、気をつけてほしい。
- 新しい価値観というのは、今まで川崎が大事にしてきた基本をより豊かにしていくという考え方でやるべきで、取ってつけたようなものを取り入れることではない。

- I アンケート・対面での意見聴取
- II 意見聴取を踏まえた協議
- III 次期プランの基本理念・基本目標の考え方**
- IV 次期プランの基本理念・基本目標の案
- V 本日の議題

1 基本的な考え方

- ✓ 現行プランの「基本理念・基本目標」の方向性は、継承する。
- ✓ 10年先の未来を見据えた内容とする。
- ✓ 本市の教育を共に作り上げていくパートナーである全ての市民と共有できるよう、メッセージ性のある形など、分かりやすく表現する。
- ✓ 子どもから大人まで、全ての市民の共感を得られる端的なフレーズ（「分かりやすい言葉」）で表現する。

本市の教育の目指す未来
を照らす“灯台”とする。



2 盛り込むべき価値観・能力

大切にしたい価値観

多様性

誰一人取り
残さない

思いやり
優しさ

主体性

学び続ける

ウェルビー
イング

- ✓ これまで川崎市の発展を支えてきた価値観は「多様性」であり、今後その価値はますます重要となる。誰もがその可能性を最大限に発揮できるよう、誰一人取り残さない学びを推進し、一人ひとりが思いやりや優しさを持ち多様性のある社会を目指すことは、本市の教育の基盤であるとする。
- ✓ 将来の予測が困難な時代において、それぞれが主体的に考え、行動することが、自らの人生を切り拓くだけでなく、持続可能な社会の維持・発展においても、重要であるとする。
- ✓ さらに、人生100年時代において、誰もが生涯を通じて学び続けることも大切であり、本市の教育が、一人ひとりがそれぞれの幸福や充実につながるなど、全ての市民のウェルビーイング向上に向けて取組を進める必要がある。

今後必要と思われる能力

他者への
想像力

創造力

挑戦する力
行動力

レジリエ
ンス

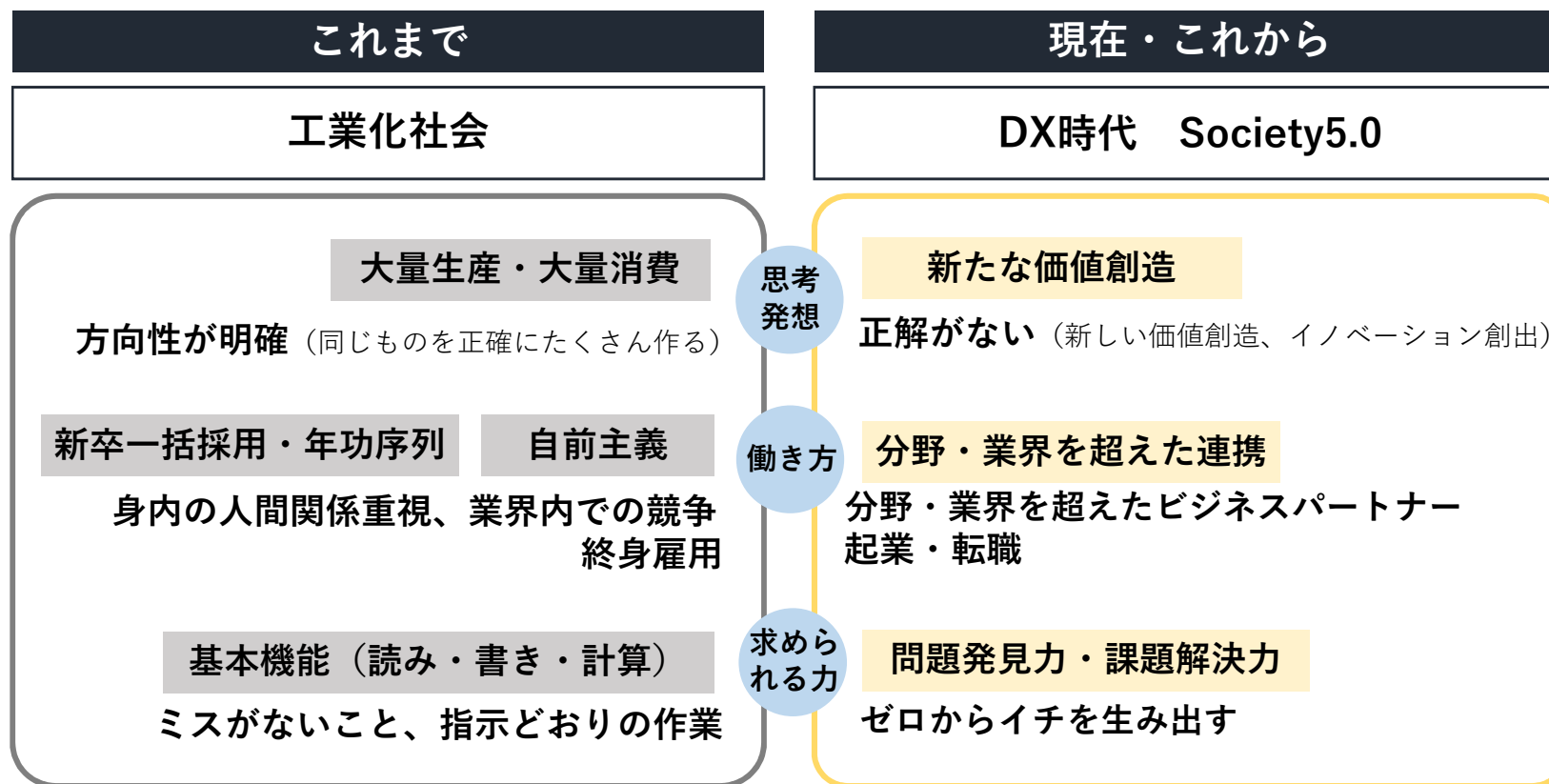
課題発見・
解決力

コミュニケーション
能力

- ✓ 今後の社会において、全ての市民にとって本市の教育が「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎」となるためには、特にこれらの能力を身に付けていく必要があるとする。

3 踏まえるべき社会状況の変化

思考・発想、働き方、求められる力の変化



（総合科学技術・イノベーション会議 教育・人材育成WG資料、加賀市教育委員会資料より作成）

4 国の動向

教育振興基本計画（令和5年6月16日 閣議決定）

2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

- 将来の予測が困難な時代において、未来に向けて**自らが社会の創り手**となり、課題解決などを通じて、**持続可能な社会**を維持・発展させていく。
- **社会課題**の解決を、経済成長と結び付けて**イノベーション**につなげる取組や、一人一人の**生産性向上**等による、**活力ある社会の実現**に向けて「**人への投資**」が必要
- **Society5.0**で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

日本社会に根差したウェルビーイングの向上

- **多様な個人**それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、**地域や社会**が**幸せや豊かさ**を感じられるものとなるための教育の在り方
- 幸福感、**学校や地域でのつながり**、利他性、協働性、**自己肯定感**、自己実現等が含まれ、協調的幸福と獲得的幸福のバランスを重視
- **日本発の調和と協調**（Balance and Harmony）に基づくウェルビーイングを発信

基本的な考え方

→方向性の継承／10年先の未来／
メッセージ性／端的なフレーズ

大切にしたい価値観
今後必要と思われる能力

社会状況の変化
国の動向

次期プランの基本理念・基本目標のたたき台を4パターンに整理し、
パターン毎に複数案（35案）を作成

教育委員会事務局の職員でディスカッション

- ①若手職員とのディスカッション（2回）
- ②指導主事とのディスカッション
- ③次期プラン検討チームとのディスカッション
 - ・学校教育プロジェクト（総合教育センター・教育政策室の部課長級・指導主事）
 - ・生涯学習プロジェクト（生涯学習推進課・地域教育推進課・文化財課の課長及び係長級）
- ④各事業担当者とのディスカッション（教育政策室、支援教育課 等）
- ⑤各校長会とのディスカッション

計53人

※令和7年1月22日時点



若手職員とのディスカッションの様子



学校教育PJでのディスカッションの様子



教育政策室でのディスカッションの様子

案を絞り込み（11案）

- I アンケート・対面での意見聴取
- II 意見聴取を踏まえた協議
- III 次期プランの基本理念・基本目標の考え方
- IV 次期プランの基本理念・基本目標の案**
- V 本日の議題

パターン① 現在の基本理念・基本目標そのままパターン

- 現在の基本理念・基本目標は広く市民に共有されており、今後も継承すべきものであることから、**現在の基本理念・基本目標をそのまま採用する。**
- ただし、**説明文は分かりやすく、メッセージ性のある形に修文する。**また、**新たに加味すべき価値観や考え方は、説明文に含める。**

基本理念

(案)

「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」

これからの社会で大切なのは、どんな状況でも自分らしく学び、考え、行動できる市民です。また、そんな市民が、お互いに尊重し合い、助け合いながら共に生きる社会を目指しています。

私たちの教育のミッションは、そんな市民を育てて、より良い社会を作ることです。

さあ、川崎の未来を一緒につくろう。

基本目標

(案)

「自主・自立」

未来に向けて、社会で自立するための力と心を育み、ともに成長し続けよう。

「共生・協働」

一人ひとりの違いを尊重し、互いの強みを生かし合いながら、ともに歩もう。

説明文をメッセージ性
のある形に修文

<その他の候補>

- (自主・自立) 自分のため、社会のために何ができるか考え、行動しよう。
- (共生・協働) ちがう考えを大切に、ともに支え、高め合おう。

パターン② 現在の基本理念・基本目標を部分修正パターン

- 現在の基本理念・基本目標の形式はできるだけそのまま使って表現（部分的な修文や加筆にとどめる）
- 現在の基本理念・基本目標は広く市民に共有されており、今後も継承すべきものであることから、**これまでと連続性のある基本理念・基本目標とすることができる**。一方で、メッセージ性のある表現とし広く市民と共有するという点において、やや課題がある。

基本理念

夢や希望を抱いて 生きがいのある人生を送るための 礎を築く

未来志向すぎるか？

分かりやすい表現か？

分かりやすい表現か？

追加すべき要素はないか？

- ・多様性
- ・誰一人取り残さない
- ・思いやり・優しさ
- ・学び続ける
- ・ウェルビーイング

+

社会の創り手の育成

（案１） 夢や希望を抱いて幸せな人生を送るための土台をつくる

→分かりやすい表現に修文

（案２） 誰もが社会の主役となり、夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く

→「社会の創り手の育成」要素を追加

<その他の候補>

●**一人ひとりが生きがいのある人生を送るための礎を築く**

→「多様性」「誰一人取り残さない」の要素として「一人ひとりが」を追加

●**夢や希望を抱いて社会と交わりながら生きがいのある人生を送るための礎を築く**

→「ウェルビーイング」の要素を追加

●**夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送る人を育てる**

→行政の役割を明確化

●**一人ひとりが豊かな人生を送るための社会を共につくる**

→「ウェルビーイング」の要素を追加

パターン② 現在の基本理念・基本目標を部分修正パターン

基本目標

(案1) 自主・自律／共生・協働

→「自立」を「自律」に修文

(案2) 自主・自立／共生・協働／想像・創造

→「他者への想像力」や「創造力」の要素を追加

<その他の候補>

●自主・自立／共生・協働／発見・解決

→「課題発見・解決力」の要素を追加

●自主・自立／共生・協働／行動・挑戦

→「挑戦する力・行動力」の要素を追加

●自主・自立／共生・協働／不屈・堅忍

→「レジリエンス」の要素を追加

●自主・自立／共生・協働／寛容・包摂

→「多様性」の要素を追加

●自主・自立／共生・協働／交流・対話

→「コミュニケーション」の要素を追加

●自主・自立／共生・協働／探求・研鑽・精進

→「学び続ける」の要素を追加

●自主・自立／共生・協働／調和・協調

→「ウェルビーイング」の要素を追加

●自主・自立／共生・協働／挑戦・成長

→「挑戦する力」「レジリエンス」「課題発見・解決力」の要素を追加

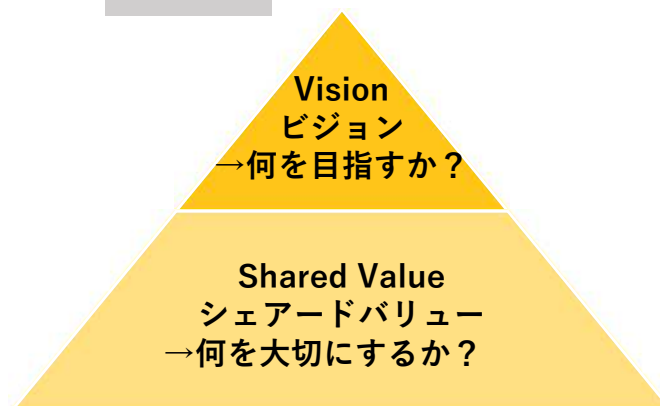
●自分で考えて、行動する。／みんなで助け合い、共に生きていく。

→「自主・自立／共生・協働」を子どもでも分かるように言い換え

パターン③ 「ビジョン+シェアードバリュー」パターン

- 現在の基本理念・基本目標は、違いが明確ではないため、**基本理念・基本目標を再整理**
- **基本理念を「Visionビジョン」として表現**
 - ・「本市の教育が目指すもの＝川崎市教育委員会の使命を表現するもの」を端的なフレーズで表現
※企業では「Purpose 存在意義」とする場合が多い。
 - ・現在の基本理念は、川崎市の人づくり・社会づくりの方向性を示しており、整理内容と概ね一致する。
➡現在の基本理念の方向性を継承して検討
- **基本目標を「Shared Valueシェアードバリュー」として表現**
 - ・「基本理念＝ビジョン」を実現するために、川崎市の教育をともに創っていく市民と、川崎市の教育が大切にしている価値観や考え方を共有するために表現するもの
※「CSV（Creating Shared Value）＝共通価値の創造」（自社の強みを用いて社会的課題の解決を目指す考え方）とは別もの
 - ・現在の基本目標は、育成したい能力・態度や精神をキーワードとして示しており、整理内容とは異なる。
➡市民と共有したい価値観等を検討

イメージ



パターン③ 「ビジョン+シェアードバリュー」パターン

Vision ビジョン

現行プランの重点施策である「キャリア在り方生き方教育」をベースに、誰もが多様な個性や能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓くことができる人を育てる「人づくり」の要素（＝「自主・自立」）と多様性を尊重し、共に支え高め合う社会をつくる「社会づくり」の要素（＝「共生・協働」）を端的に表現

（案１）未来に向かって共に育ち、多様な個性が輝く社会を創造する。

→「未来に向かって共に育ち」で教育の大きな使命を表現するとともに、「多様な個性が輝く」で、一人ひとりの個性を伸ばし、自分らしく生きていく市民を育てる「人づくり」の要素を表現した。

また、「社会の創造」で、そのような市民が互いを尊重する社会をつくる「社会づくり」を表現した。

（案２）Grow Together 多様な個性が輝く社会の創造

→案１の「未来に向かって共に育ち」を英語のフレーズに変えて、よりキャッチーな表現とした。「Grow Together」は１つになるという意味があり、多様な個性が溶け合い輝く社会を創造するという意味を込めたので、日本語のサブタイトルを添えた。

（案３）誰もが主役。共に未来をつくろう。

→「誰もが主役」で一人ひとりが学びの主体であり、それぞれが主体的に人生を切り拓く「人づくり」を表現した。

また、「共に未来をつくろう」で多様性を尊重する「社会づくり」を表現した。

<その他の候補>

●未来を担う人材を育てる。

→教育の役割の本質を端的に表現した。

●教え・育て・学びを通じて、一人ひとりが生きがいのある人生の主役となる。

→現在の基本理念は主語がなく主体が明確でなかったため、「教育・学び」という表現を入れることで、ビジョンの位置付けを明確にした。

●夢を抱いて人生の主役になる学び 共に生きる社会につながる学び

→現在の基本理念の解説文では「人づくり・社会づくり」を表現したものとされているが、「社会づくり」が読み取りにくい。現在の基本理念と解説文（共に生きる社会「互いを尊重」）の言葉を使いながら、「人づくり・社会づくり」を両立させた表現とした。

●人生の主人公となって、カワサキから未来に踏み出そう。

→現行の基本理念と同じく「人づくり」部分だけを表現し、「自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動」を「人生の主人公」、「いきいきと躍動」を「未来に踏み出す」に言い換え、市が目指すもの・使命という意味で「カワサキ」を入れた。

●自ら考える学びが未来を生きる自分と支え合う社会をつくる。

→学びを主語として人づくりと社会づくりに帰結させた。解説の「自ら学び考え」と「高め合いながら共に生きる」に着目して端的に表現した。

●Grow Together／多様な個性が響き合い、誰もが成長し続ける社会をともに創造しよう。

→子どもにも分かる簡単な単語で、「共に育つ」「多様性の受容と包摂」を表現した。

●Our actions, our future. ／私たちの行動が、私たちの未来をつくる。

→「一人ひとりが学びの主役」であり「一人ひとりの行動が社会や未来を変えていく」ということを表現した。

●一人ひとりが輝く。そして社会を共につくる。

→子どもにも分かる簡単な単語を使い、ウェルビーイングの「一人の幸せ」「みんなの幸せ」の掛け合わせを表現した。

パターン③ 「ビジョン+シェアードバリュー」 パターン

Shared Valueシェアードバリュー

(案)

教育プランは行政だけが進めていくものではありません。「ビジョン」の実現に向けた長い道のりは、市民の皆さんと一緒に歩んでいかなければならないものです。なぜなら、市民一人ひとりが学びの主役であり、教育プランの取組をともに進めていくパートナーであるからです。

そのためには、市民の皆さんと川崎の教育で大切にしていきたい価値観や考え方を共有し、川崎らしい人づくり・社会づくりを進めていく“合言葉”としていきます。

「多様性を可能性へ」

川崎市は、多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出してきました。

私たちは、異なる背景や立場の人たちと学び、成長することが、教育にとって必要なことだと信じています。

学校も地域も一緒に、互いを認め、支え合いながら、多様な価値が交差する場所を創造していきます。

→「共生・協働／多様性／他者への想像力／地域連携」の要素を入れて表現した。

「自分も幸せ みんなも幸せ」

教育の役割は、一人ひとりが夢や希望を抱いて生きがいのある人生を歩むための土台をつくることであり、そして、その先には誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会の創造があると考えています。

私たちは、子どもや先生、保護者、すべての市民が、かけがえのない人生を送ることができるよう、そして地域や社会がこれから発展できるよう、学びを進めていきます。

→「夢や希望を抱いて生きがいのある人生／ウェルビーイング／教員の働き方改革／社会貢献」の要素を入れて表現した。

「挑戦する」

これから私たちが生きる「答えのない」世界において、課題を解決する力や創造力は、個人の成長と成功に不可欠な要素であり、未来の可能性を広げるために重要です。

大切にしたいのは、子どもも大人も学びの主役として、自分らしく挑戦することです。

私たちは、失敗しても、また立ち上がり、挑戦することを大切にします。

→「自主・自立／挑戦／行動／レジリエンス／課題発見／探究／学び続ける」の要素を入れて表現した。

パターン③ 「ビジョン+シェアードバリュー」パターン

Shared Valueシェアードバリュー

<その他の候補①>

「違いを力に。共に学ぶ。」

川崎市は、多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出してきました。
私たちは、異なる背景や立場の人たちと学び、成長することが、教育にとって最も大切なことだと信じています。
学校も地域も一緒に、互いを認め、支え合いながら、学びを進めていきます。

→「共生・協働／多様性／他者への想像力／地域連携」の要素を入れて表現した。

「それぞれの幸せ。みんなの幸せ。」

教育のゴールは、それぞれが夢や希望を抱いて生きがいのある人生を歩むとともに（それぞれ幸せや生きがいを感じるとともに）、地域や社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態の基盤を創ることです。

私たちは、子どもや先生、保護者、すべての市民が、かけがえのない人生を送ることができるよう、そして地域や社会がこれからも発展できるよう、学びを進めていきます。

→「夢や希望を抱いて生きがいのある人生／ウェルビーイング／教員の働き方改革／社会貢献」の要素を入れて表現した。

「挑戦する。」

これから社会や経済はますます激しく変化し、将来の予測が困難で、「答えのない」世界になると考えます。
そのような中で、一人ひとりが主体的に課題に向き合い、解決することが、今まで以上に求められます。
私たちは、どんな状況であっても、挑戦することを諦めません。

→「自主・自立／挑戦／行動／レジリエンス／課題発見／探究／リーダーシップ」の要素を入れて表現した。

パターン③ 「ビジョン+シェアードバリュー」パターン

<その他の候補②>

教育プランは行政だけが進めていくものではありません。「ビジョン」の実現に向けた長い道のりは、市民の皆さんと一緒に歩んでいかなければならないものです。なぜなら、市民一人ひとりが学びの主役であり、教育プランの取組をともに進めていくパートナーであるからです。

そのためには、市民の皆さんと川崎の教育で大切にしていきたい価値観や考え方を共有し、川崎らしい人づくり・社会づくりを進めていく“合言葉”としていきます。

「多様性は可能性」

川崎市は、多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出すことができるまちをめざしています。互いの違いを尊重する人を育て、学校もまちも多様な価値が交差する場所にしていきます。

「他者への想像力（ウェルビーイング）」

多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じることが大切です。そして、その幸福感が地域や社会全体に広がることで、より豊かで幸せなコミュニティが生まれます。

目指すのは、一人ひとりの幸福が家庭や地域、社会へと広がり、その循環が次の世代を支え続けるようになることです。

「誰一人取り残さない」

全ての人が社会の一員として尊重され、自分らしく生きていける社会を築くことが求められています。

全ての子どもや市民が自分の可能性を最大限に引き出し、未来に向けて力強く成長できるような教育の機会を持つことです。

「市民・子どもが学びの主体・主役」

技術革新が進み、社会が激しく変化する時代において、課題を解決する力や創造力は、個人の成長と成功に不可欠な要素であり、未来の可能性を広げるために重要です。

大切にしたいのは、子どもも大人も学びの主役として、一人ひとりが自立（自律）し、自らが掲げた目的達成のために努力することです。

パターン④ 基本理念・基本目標を合体させたパターン

●基本理念・基本目標を1つにまとめて表現（渋谷区や加賀市のパターン）

Visionビジョン

（案）

「未来をつくる、学びの旅」

夢を描こう。

一人ひとりの夢や希望を大切にしよう。
その夢が、未来の自分をつくる力になる。

学びを楽しもう。

自ら学び、自ら考え、自ら行動することで、誰のものでもない自分の人生を自分で切り拓いていくことができる。
基礎をしっかり身に付け、自分の「やりたい・知りたい」を深めよう。

違いを尊重し共に生きる社会を目指そう。

みんな違うからこそ、学び合い、助け合うことができる。
その違いが、新しいアイデアや解決策を生み出す原動力となり、未来の社会を支える力となる。

人生の主役になろう。

それぞれの個性や能力を最大限に活かし、成長させることが重要だ。
自身の強みを理解し、誰もが自立した個として、自分で自分の未来を選んでいこう。

挑戦しよう。

新しいことに挑戦する勇気を持とう。
失敗もまた貴重な経験。挑戦することで成長しよう。

未来を信じよう。

一人ひとりの力を信じて、未来を切り拓こう。
自分の力を信じるのが、未来をつくる第一歩。

メリット・デメリット

- ✓ 「基本的な考え方」（p.11）の4項目で各パターンを評価
- ✓ パターン③（ビジョン+シェアードバリュー）が最も評価が高いと考えられる。

パターン	方向性の継承	10年先の未来	メッセージ性	端的なフレーズ
①現在の基本理念・基本目標そのまま（説明文を修文）	○	△	×	○
②現在の基本理念・基本目標を部分修正	△	○	×	○
③ビジョン+シェアードバリュー	△	○	○	△
④基本理念・基本目標を合体	△	○	○	×

参考（他事例）

札幌市（目指す人間像）

自立した札幌人

仙台市（基本理念）

人がまちをつくり、まちが人を育む学びの循環のもと、たくましく、しなやかに自立する人を育てます

さいたま市（基本理念）

人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」の推進

千葉市（教育目標）

自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ

横浜市（目指す人づくり）

自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

相模原市（目指す人間像）

共に認め合い 現在と未来を創る人

静岡市（目指すもの）

たくましく しなやかな子どもたち

浜松市（基本理念）

描く夢や未来の実現

神戸市（教育ビジョン）

自他を大切に 自ら考え 未来をつくる

参考（他事例）

加賀市（スローガン）

Be the Player / 自分で考え 動く 生み出す そして社会を変える

戸田市（基本理念）

生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田

つくば市（基本理念）

夢に向かってよりよい未来をひらく「学び」の実現

町田市（教育目標）

自ら 学び、あなたと 学び、ともに創る町田の未来

八王子市（教育理念）

学びを通じてすべての人が自分の「みち」を見出し 一人ひとりが望む未来に挑戦する力を育む
はちおうじの教育

東京都（目指す教育）

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育

神奈川県（基本理念）

未来を拓く・創る・生きる 人間力あふれる かながわの人づくり

参考（他事例）

トヨタ自動車

（VISION）

可動性（モビリティ）を社会の可能性に変える。

（MISSION）

わたしたちは、幸せを量産する。

ソニーグループ

（Purpose存在意義）

クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす。

（Values価値観）

夢と好奇心夢と好奇心から、未来を拓く。

多様性多様な人、異なる視点がより良いものをつくる。

高潔さと誠実さ倫理的で責任ある行動により、ソニーブランドへの信頼に応える。

持続可能性規律ある事業活動で、ステークホルダーへの責任を果たす。

リクルートホールディングス

（基本理念）

私たちは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現を目指す。

（バリューズ [大切にする価値観]）

新しい価値の創造 / Wow the World

個の尊重 / Bet on Passion

社会への貢献 / Prioritize Social Value

味の素株式会社

（志（Purpose）・存在意義）

アミノサイエンス®で、人・社会・地球のWell-beingに貢献する

（ASV（Ajinomoto Group Creating Shared Value）／志を実現する取組み）

事業を通じた社会価値と経済価値の共創

- I アンケート・対面での意見聴取
- II 意見聴取を踏まえた協議
- III 次期プランの基本理念・基本目標の考え方
- IV 次期プランの基本理念・基本目標の案
- V 本日の議題**

本日もいただきたいご意見

**次期教育プランの「基本理念・基本目標」について
事務局案に対する御意見をお願いします。**

本日の進め方

①グループで意見を出し合う(20分)。

他の委員と意見交換を行い、自分の意見を深めていただきます。
感想等でも構いません。

②グループで出た意見を踏まえ、全体に向けて発言する(10分)。

自分の立場で考えたことや、他の委員の意見を聞いて気づいたこと等を踏まえ、御発言ください。